

授業支援システム

01 授業支援システムとは？

大学ではいろいろな授業の形態がありますが、100人を超えるような授業では、皆さんがレポートを提出するために大学がレポート提出箱を用意し、皆さんがそこまで出向いてレポートを提出し、教員がそれらを集めて管理するのは大変です。そのため、Webでも対応できるように法政大学では授業支援システムが導入されています。はじめにレポート提出の場面を例として利用イメージを紹介します。

まず皆さんは授業支援システムにパソコンなどでアクセスします。すると下の画面が表示されます。そして教員が提示したレポート課題を確認します。その後、その課題をワープロソフトなどで作成します。最後にできあがったレポートを授業支援システムに投稿します。

こうして授業支援システムにより、皆さんはいつでもどこでもレポートを提出することができます。そして、そのレポートは確実に教員に届けられるので、レポート授受の問題もありません。多くの教員がこの授業支援システムを使って授業を運営しているので、なるべく早いうちにその使い方に慣れましょう。

授業支援システム画面例



02 授業支援システムの機能

授業を担当する教員によって使う機能は異なりますが、授業支援システムでよく利用されている機能は以下のとおりです。

- ・お知らせ——授業を担当する教員による各種お知らせを参照できます。
- ・教材——授業で使う教材、授業で説明した資料などを参照できます。
- ・課題提出——レポート課題の確認、レポート提出ができます。
- ・掲示板——教員を含むクラス全員でディスカッションができます。

03 各種ガイド

授業支援システムに関する情報は次のようなところから入手できます。

1

ポケットガイド

授業支援システム、利用ガイドへのアクセス先と問い合わせ先(キャンパスサテライト)が記載されています。名刺サイズなのでいつも携帯しましょう。

2

スターティングガイド

授業支援システムの最低限の利用方法が記載されています。A4サイズで6ページですので、利用ガイドからダウンロードし印刷しておきましょう。

3

利用ガイド (<http://cmsguide.hosei.ac.jp/hcms-student.html>)

スターティングガイドのほか、PC画面とマウスの動きを再生できるビデオが収録されています。

4

キャンパスサテライト

上記ガイドで分からない時には各キャンパスに設置されているキャンパスサテライトを利用しましょう。授業期間中、相談員が常駐しています。

キャンパスサテライト

(小金井キャンパス西館地下1階メディア準備室)

オープン時間(授業期間中)

4月・9月：月～金

(9:00～12:20、12:50～17:50)

5月～7月、10月～1月：月～金

(10:40～12:20、12:50～17:00)

TEL : 042-387-7068

E-mail : hcms@ml.hosei.ac.jp

※授業支援システムは、情報システム・Webシラバス・授業改善アンケートシステムと連動していません。

i

これだけはやっておこう

授業を担当する教員が皆さんに連絡をする手段として授業支援システムのメール機能を使うことがあります。また、レポート提出期限の24時間前までに未提出だとメールでお知らせされます。授業支援システムでは二つのメールアドレスが登録できるので大学発行のメールアドレス(学生氏名、x x@stu.hosei.ac.jp)といつも使っている携帯電話などのアドレスを登録しておきましょう。

授業支援システム

授業に関するお知らせ・授業資料・レポート課題の参照および提出をネット上で行うことができます。(授業担当教員の指示により利用します。)

■アクセス先

PC:スマートフォン : <https://hcms.hosei.ac.jp/>

携帯サイト : <https://hcms.hosei.ac.jp/mobile/>

利用ガイド : <http://cmsguide.hosei.ac.jp/>

授業支援システムの使い方が掲載されています。

■問合せ先

レポート提出などの方法がわからない

ときは次の窓口にご相談ください。

キャンパスサテライト :

小金井キャンパス

西館地下1階メディア準備室

サービス時間(授業期間中) :

4月・9月 : 月～金 (9:00～12:20、12:50～17:50)

5月～7月、10月～1月 : 月～金 (10:40～12:20、12:50～17:50)

電話番号 :

042-387-7068 (内線 87-7068)

E-mail :

hcms@ml.hosei.ac.jp

授業支援システム、情報システム、Webシラバスはそれぞれ別システムです。授業支援システムに自己登録しても情報システムでの正式な履修登録にはなりませんので注意してください。



携帯サイト

ポケットガイド



スターティングガイド

受講のマナー

映画館でのことです。すでに映画がはじまっているのに、何人かが入って来ました。何やらおしゃべりをしながら自分たちの席を探しています。

皆さんはこんな場面に出会ったらどう感じるでしょうか。映画館や劇場の中で、上演中に歩き回ったり、おしゃべりをしたりするのはとても迷惑ですよね。ところが不思議なことに、学校での授業となると、こうしたことを平気でする人がいます。

大学が毎年行なっている授業改善アンケートでも、多くの学生から「授業中に周囲のおしゃべりがうるさくて勉強にならない」、「平気で遅刻や早退をする人がいる」といった不満の声が上がっています。

教室の中では学びたいという学生の権利が何よりも優先されます。他の学生の権利を侵害しないよう、大学人としてのマナーを守りましょう。公私の別をわきまえることが大人への第一歩です。



受講マナーのチェック・ポイント

- 授業中の私語は他の学生の学ぶ権利を侵害します。絶対にやめましょう。
- 遅刻や中途退出も他の学生の迷惑になります。
- 携帯電話の呼び出し音や振動音が鳴らないよう、設定を切り替えましょう。
- 授業中の飲食もマナー違反です。

本学創設時に多大な貢献をしたボアソナード博士が大切にしていた言葉があります。

「人ヲ害スル勿^{なか}レ」

古代ローマの法学者ウルピアヌスの言葉で、人の権利を侵害してはならないという意味です。人間の権利をなによりも大切に考えるフランス自然法思想をよく表しています。

授業中に私語をするのは、ボアソナード博士の戒めた、他人の学ぶ権利を侵害すること。法政大学の学生なら、そんなことはしないはずですね。

